プログラム

11/21(土)

10:00～11:30

1 量的研究のリサーチクエスチョンと研究方法

米倉 佑貴
聖路加国際大学大学院 看護学研究科 准教授

量的研究から意義のある成果を得るためには良いデータを得ることが不可欠で、そのためには良い研究計画を立てることが重要です。データ解析はデータを集めたあとで見直すこともありますが、データ収集のほとんどはやり直せません。この講義では量的研究の進め方、計画の立て方を概観し、データを取ったあとで後悔しないためのポイントをみていきます。

13:00～14:30

2 研究デザイン

上村 夕香理
国立健康危機管理研究機構 臨床研究センター
データサイエンス部　生物統計研究室　室長

“知りたいこと(クリニカルクエスチョン)”をデータから評価するためには、研究開始前に研究の設計図を適切にたて、研究デザインを組むことが重要となります。この講義では、様々な研究デザインやそれぞれの利点・欠点、気を付けるべき落とし穴等について講義します。

15:00～16:30

3 記述統計

川原 拓也
東京大学医学部附属病院 臨床研究推進センター 助教

適切にデザインされた研究で収集されたデータは、記述統計・推測統計の道具により整理されることで臨床に還元されます。この講義では、記述統計に焦点をあて、それぞれのデータが分類される型ごとに、データの要約方法の基礎を学ぶことを目的とします。さらに、要約結果を提示するための図表を作成する際のポイントや具体例を紹介します。

12/12(土)

10:00～12:00

4 推測統計

上村 鋼平
東京大学大学院 情報学環 准教授

データが何らかの傾向を示した際に、偶然そのような傾向が得られたのか、真の傾向は何なのか、を知りたいということがあります。推測統計を用いると、データ(結果)の不確実性を考慮した上で、「2群の間に差がある」などの結論を導くことが可能になります。この講義では、推測統計のしくみと使い方について、具体例によるイメージを持ちながら、基礎から学んでいきます。

13:00～14:30

5 回帰分析

篠崎 智大
東京大学大学院 情報学環 准教授

回帰分析の知識を身に着けることで、読める論文や実施できる研究の幅が広がり、一歩踏み込んでデータに向き合うことができます。この講義では、「回帰」とは何か、回帰を「モデル」で表すとはどういうことか、からはじまり、最小限の数式から気を付けるべきポイントをなるべく正確に理解することを目的とします。

15:00～16:30

6 検定

坂巻 顕太郎
順天堂大学 健康データサイエンス学部 准教授

不適切な方法で計算されたp値から研究の結論を導くことに対する批判が高まっています。p値は検定の結果として得られるものですが、なぜ検定が必要なのか、どのような検定方法を選択すべきなのか、検定結果を適切に解釈するとはどういうことなのか、を理解しなければ、適切に研究結果を解釈することはできません。この講義では、How toではなく、検定の目的と適用上の注意点を理解することを目的とします。

- 両日とも3講義ずつのライブ配信です（開始10分前までにZoomセミナールームにお入り下さい）。
- 2日間（全6講義）の受講となります。1日単位、講義単位での購入はできません。
- 講義後、音声やZoomのQ＆A機能での質問が可能です(質問はライブ配信時のみ、講義内容に関するものに限ります)。
- ライブ配信を見逃した方、復習したい方は、オンデマンド配信も視聴できます（**2026年12月17日(木)～ 2027年 1月17日(日)**）。
  ※変更する場合は、受講者専用ページ(お申込み後にご案内)にてお知らせします。

お問合せ先
一般財団法人 厚生労働統計協会
〒103-0001　東京都中央区日本橋小伝馬町4番9号
Tel:　03-5623-4123
Mail:　toi-semi@hws-kyokai.or.jp
Web:　https://www.hws-kyokai.or.jp/